

第3学年3組 国語科学習指導案

日時 平成30年10月30日（火）5校時

担任

司書教諭

学校司書

1. 単元名 はたらく犬について調べよう

教材名 「もうどう犬の訓練」（東京書籍 3年下）

2. 単元の目標

○働く犬について関心を持ち、いろいろな資料を進んで読み、調べようとしている。

【関心・意欲・態度】

○目的に応じて文章の要点や細かい点に注意しながら読み、書かれている内容を要約することができる。【読む能力】

○本や資料を読んで知りたいことを調べ、必要な情報を集めてリーフレットにまとめることができる。

【書く能力】

3. 基盤

○ 本単元の重点指導事項は、学習指導要領におけるC読む（1）エ「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること」である。児童はこれまで、文章の内容を読み取る上でだいたいの言葉に着目して読むことを学習してきた。これから先は目的や必要に応じて情報を収集し、内容を短くまとめて活用する力をつけていくことが重要となる。

本教材「もうどう犬の訓練」は、盲導犬の訓練について盲導犬の定義や役割、訓練の段階を順序立てて説明した文章である。「どのような訓練が行われるか」ということに即して説明しているため、だいたいの言葉や文を見つけやすく、段落ごとの内容をとらえやすい。初めて要約を学習する3年生児童に適した教材文である。

本単元では、働く犬について調べて分かったことをリーフレットにまとめて紹介する活動を設定している。小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 には「要約するとは、文書全体の内容を正確に把握した上で、元の文書の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章を短くまとめることである。」とある。さらには「文章の内容を端的に説明するといった要約する目的を意識して、内容の中心となる語や文を選んで、要約の分量などを考えて要約することが重要である。」と述べられている。これらの要約の意義をふまえ、本単元を通して児童に要約することのよさをしっかりと実感させたいと考えている。

○＜児童の実態＞（省略）

- 本単元では、はたらく犬について調べて分かったことをリーフレットにまとめて紹介する言語活動を設定する。リーフレットは紙面が限られているため、だいたいの言葉や文を見つけて要約することが大切となる。

「もうどう犬の訓練」の説明文で要約することについて学んだ後、最終的に「はたらく犬をしょうかいする展示コーナーをつくろう」という学習課題に基づいて、リーフレットにまとめる活動を行う。自分が調べてみたいはたらく犬について関連する本や資料を選び、書かれている情報を「そのままカード」に取り出し、「わかったカード」に要約していく。「わかったカード」には本で見つけただいたいの言葉や文を、書き換えたり言葉を補ったりして要約することができるようにしていく。

本時は関連する本から情報を取り出してまとめた複数の「そのままカード」を「わかったカード」に要約する活動を行う。授業の導入で要約のポイントを再確認し、活動に取り組ませていく。要約する上では他者意識をもち、リーフレットで初めてその情報に触れる人でも理解できるようにすることの重要性を再確認したい。

要約する上では、文全体を把握し、目的に応じて大切なことや自分の必要なことを読み取ることが求められる。(児童の実態に関わる記述については省略) また、途中で「アドバイスタイム」を行う。要約した文を仲間に読んでもらい意味が伝わるかどうかを確認したり、文のつながりに不自然さがないかなどについてアドバイスをもらったりする時間である。アドバイスタイムの前には、アドバイスの視点を示し、グループでの対話を通してより深まりのある活動となるようにしたい。

4. 指導計画（全14時間）

次	時	学習活動	評価				評価基準
			関	話 聞	読	言	
第一次	1	○単元の課題を確かめ、学習の見通しを立てる。	○				【関】働く犬に関心を持ち、「はたらく犬リーフレット」を作ること に意欲を持って取り組もうとしている。(発言)
	2	○文章全体の構成をとらえ、訓練の順序をおおまかにつかむ。			○		【読】順序や期間を表す言葉を手がかりに、文章の組み立てをとらえている。(発言・ワークシート)
	3 4	○だいたいの言葉や文を手がかりに、訓練の内容を読み取る。			○	○	【読】だいたいの言葉を手がかりに、盲導犬の定義や訓練の内容を読み取っている。(ノート・発言) 【言】教材文を読んで、指示語や接続語の役割を理解している。(発言・ノート)

	5 6	○教材文の内容を要約してまとめる。			○	【読】文章の要点や細かい点に注意し、言葉を補ったり書き換えたりしながら内容を要約してまとめている。(ノート)
	7	○はたらく犬についてくわしく知りたいことを考え、調べる方法を決めることができる。			○	【書】リーフレットに書くことを決め、どのように調べて情報を集めるかを考えている。(行動観察・ワークシート)
	8 9	○本や資料からはたらく犬について知りたい事柄を調べ、情報を集めることができる。			○	【読】知りたい事柄について調べるために、関連する内容の本を選んで読んでいる。(そのままカード) 【書】知りたい事柄を調べるために本や資料を読み、必要な情報を集めている。(そのままカード)
	10 11 12 13	○調べて分かったことを整理し、だいたいな言葉や文を落とさないように要約することができる。【本時】 ○リーフレットを作成する。			○	【読】調べて分かったことを整理して、紹介するためにだいたいな言葉や文を落とさないように要約している。(わかったカード・リーフレット)
	14	○作成したリーフレットを読み合って感想を交流し、学習を振り返ることができる。			○	【話・聞】「はたらく犬リーフレット」を読み合い、目的に応じて分かりやすく要約しているか確かめ合っている。(発言・ノート)

5. 本時の学習

(1) 本時のねらい

○調べたことを整理し、だいたいな言葉や文を落とさないように要約することができる。

(2) 展開

学習活動	教師の支援
1. 学習課題を確認する。 「そのままカード」を要約して、「わかったカード」にまとめよう。	
2. 要約について、例をもとに再確認する。	○「そのままカード」から「わかったカード」にまとめる例を示し、要約のポイントについて再確認する。
3. 前時までに調べた「そのままカード」を要約して、「わかったカード」にまとめる。 ・困った時にはグループの仲間にいつでも相談してよいことを伝える。 ・途中で「アドバイスタイム」を行う。分かりにくいところや語句と語句のつながりの悪いところ、誤字がないかなど、グループ内で読み合い、アドバイスし合う。 ・アドバイスをもとに修正する。	○要約がなかなかできない児童には、「そのままカード」の中のだいたいな言葉や文に線を引き、それにどんな言葉を補ってまとめればよいか考えさせる。 ○「アドバイスタイム」の前に、アドバイスする上での視点を確認する。
4. 振り返りを行い、次時への見通しをもつ。	○次時は「わかったカード」をもとにリーフレットをつくることを確認する。

(3) 研究の視点

○グループで読み合ったり、アドバイスし合ったりすることは要約する上で有効であったか。

6. 研究協議の内容

参加者	校内 25名、校外 15名 計 40名
授業及び研究協議の概要	・授業では、図書の情報を引用して書き写した「そのままカード」を要約して「わかったカード」にまとめる活動を行った。学習の途中では、「アドバイスタイム」を設け、グループの友達同士で「わかったカード」を読み合い、読み手にわかりやすく伝わる要約になっているかアドバイスし合う活動を設定した。 ・要約の仕方やアドバイスタイムについて、ロールプレイでモデルを示した後、担任がポイントを押さえていてよかった。要約をするための手がかりとなる掲示物があるとさらに児童が取り組みやすかったと感じた。 ・アドバイスタイムを設定したことは、効果的であった。まず、友達に対して何とかアドバイスをしようとする姿勢がよかった。書くことができなかった児童が友達の要約を参考にすることで、書くことができるようになっていた姿が見られた。また、友達にアドバイスすることで、自分の要約を見直すきっかけにもなっていた。アドバイスを全体で共有するとさらによかった。 ・学習の最終ゴールであるリーフレットの見本を示す必要がある。最終形の形を児童に示し、「わかったカード」に何に留意して、どのくらいの量を要約したらよいか意識させることが大切である。